

「東京グリーンシップ・アクション」第6回活動の報告 ～東京に残された貴重な自然環境を守る～

記者各位

当社(社長:西尾進路)は、環境貢献活動の一環として、昨年11月より東京都が主催する「東京グリーンシップ・アクション」に参加しており、12月3日(土)に第6回目(全7回)の里山における環境保全活動を実施しましたのでお知らせいたします。

この環境保全活動は、典型的な里山の風景をそのまま保全している「函師小野路(ずしおのじ)歴史環境保全地域」にて、環境保全にかかわる地元農家の人々の指導のもと、社員ボランティアが荒れた田んぼを1年半かけて、自然と共存しながらの伝統的な農法により復元するものです。この復元作業を通して、里山の自然の価値や保全の大切さについて認識を深めます。

今回は10月に収穫したもち米でもちつきを行いました。前日に米とぎしてあったもち米を蒸して、交代で杵を取りおもちをつきました。昼食にはつきたてのおもちを食べながら、田おこしから田植え、草取り、稲刈りを経て得ることができた収穫の喜びを参加者全員で分かち合いました。

当社は、社員の行動規範として「地球環境との調和」を掲げており、CSR活動を強化していく中のひとつの取り組みとして、社会とのかかわりを大切に考え、積極的に環境貢献活動を推進しております。今後も、本活動をはじめ、ENEOSカードによる社団法人国土緑化推進機構への寄付、「ENEOSの森」の全国展開による森林保全など、さまざまな環境貢献活動を継続的に実施してまいります。

記

1. 東京グリーンシップ・アクション

保全地域※における企業・NPO等と東京都が連携した自然環境保全活動です。企業は一定の資金の提供とボランティア活動を行うことにより、都内の貴重な自然の保護や回復に協力します。

※「東京における自然の保護と回復に関する条例」に基づき、都が指定する地域です。良好な自然地や歴史的遺産と一体となった樹林など、都内に残る貴重な自然地を都民の大切な財産として末永く残していくことが目的です。現在都内には44箇所の「保全地域」があります。そのうちの4地域で本活動が行なわれています。

2. 協定期間

2004年11月26日～2006年3月31日

3. 活動場所

函師小野路歴史環境保全地域(東京都町田市)

4. 提供金額

60万円

5. 参加者

協定期間中、7回の里山保全活動が予定されております。毎回、当社社員ボランティアが15名程度参加します。

6. 役割分担

- ◆東京都 …活動の場の提供、道具類の貸与
- ◆NPO(町田歴環管理組合) …活動の運営
- ◆企業(当社、富士ゼロックス株式会社) …資金の提供、社員ボランティアの参加

7. 活動内容

回数	日程	活動内容
第1回	2004年11月26日	保全地域内の見学
第2回	2005年 3月19日	草刈り、田おこし、水路の整備、畦補修

回数	日程	活動内容
第3回	2005年 6月11日	苗とり、田植え
第4回	2005年 7月 2日	田んぼの草取り、周囲の草刈り
第5回	2005年10月15日	稲刈り、稲の架け干し
第6回	2005年12月 3日	作業道具の整備、餅つき
第7回	2006年 2月18日	雑木林の落ち葉はき

8. 図師小野路歴史環境保全地域の概要

(1) 指定年月日	1978年7月4日
(2) 位置	町田市の北部、図師町、小野路町にまたがる区域
(3) 面積	366,056m ²
(4) 概要	<p>町田市北部のなだらかに起伏する丘陵地。丘陵と谷戸が複雑に入り組んだ地形、典型的な里山の景観を成しており、丘陵部のクヌギ・コナラなどの雑木林と、谷戸部の耕作水田や湿性草地からなる多様な環境を反映して、多様な野生動植物が息生・生育する。</p> <p>地元農家を中心に結成された「町田歴環管理組合(任意団体)」が、都の委託を受けて、1996年度から昔ながらの農業手法による維持管理を行なっている。それにより、30年以上耕作放棄した谷戸田や溜め池が復元され、美しい里山の景観とともに、貴重な野生動植物が回復し、良好な自然環境を保全している。</p>

9. 当日の様様



「エコプロダクツ2005」にて『企業による緑の保全活動を通じたCSRの取組』をテーマに、「東京グリーンシップ・アクション」の当社の活動報告を以下のとおり発表いたします。

12月16日(金)10:00~12:00 於:東京ビッグサイト 会議棟6階606室

以上